

## 行田産大麦「彩の星」100%ビールが発売

5月1日、福地賢さん(サッポロビール(栃埼玉統括支社長)と大麦生産者である島澤万蔵さん(犬塚)らが来庁し、本市で栽培された大麦「彩の星」を使用したビール「まるごと国産」の発売を工藤市長に報告しました。

このビールは、上質な麦のうまみとしっかりした飲み応えが特長。4月22日から埼玉県をはじめ東京都や神奈川県など1都7県で販売されています。グラスに注がれた「まるごと国産」の香りを堪能した工藤市長は、「行田で収穫された大麦が、このビールの原料に採用されてとても誇らしく思います。これからも行田の農業の力を全国にPRしていきたい」と意気込みを語っていました。



## ホタルの幼虫 6,000匹を放流

5月11日、古代蓮の里ホタルの川でホタルの幼虫の放流が行われました。

古代蓮の里ホタルの会が主催するこのイベントは、今年で10回目。イベントでは、ホタルの生態についてのクイズ大会が行われたり、参加者と歌を唄ったりして、楽しい時間を過ごしました。そして、最後に同会が大切に育てたヘイケボタルの幼虫6,000匹を放流。参加した子供たちは、素早い動きで隠れてしまう幼虫の動きを不思議そうに眺めていました。

## 原付ご当地ナンバープレートがお披露目

5月3日、市役所税務課で行田市原付ご当地ナンバープレートが交付されました。

忍城や古墳が描かれたデザインのナンバープレートは、市制施行65周年を記念して作成されたもの。愛らしいプレートをいち早く手に入れようと、午前9時の交付を前に、多くの所有者が窓口を訪れました。行田の魅力満載のナンバープレートを付けた原付バイクが「まちなか」を走ることで、行田を存分にPRできる他、行田への愛着も深まることでしょう。



## 自然と遊ぼう!

4月22日、長野地区の畑でレンゲ祭りが行われました。東小学校3年生を対象にしたこの祭りは、総合学習の一環として行われているもの。子供たちは目を輝かせながら、花の冠や首飾りを作ったり、草笛を吹いたりして、自然の中で遊ぶ楽しさを全身で感じていました。春の草花の香りが漂う中で、仲間と過ごしたこの時間は、大切な思い出としていつまでも子供たちの心に残ることでしょう。



# 写真館

GYODA CITY PHOTO STUDIO

## 神話の世界にタイムスリップ

5月4日、さきたま古墳公園で第29回さきたま火祭りが開催されました。

この祭りは、古事記に出てくる登場人物「ニニギノ命」と「コノハナサクヤ姫」の物語を再現したものです。夕闇迫るころ、荘厳な音楽に合わせて2人の主人公が「産屋」に乗って登場すると、会場は一気に古代時代にタイムスリップしたかのようなムードに。2人が産屋に火を放つシーンでは、観客の誰もが火の勢いに圧倒されていました。そして、祭りはいよいよクライマックスへ。オワケノ臣を先頭に、たいまつを持った古代人が続々と集結すると、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。

来場者は火をシンボルにした古代ロマンあふれるこの祭りを、思う存分満喫することができたようです。



## 市民の健康づくりに心強いパートナー

5月16日、市役所で本市とファイザー株式会社とで、「行田市の健康増進事業に関する協定」を締結しました。

この協定は、ヘルスケア分野を常にリードしているファイザー株式会社の豊富な知識と経験を市民の皆さんに伝え、健康の保持および増進に役立てるものです。市民の健康づくりに心強いパートナーを得たことで、「健康で生き生きと暮らせるまち行田」に大きく近づくことでしょう。



## 楽しみながら地球温暖化を防止!

5月18日、産業文化会館南側芝生広場で、緑のカーテンを設置するためのゴーヤの苗400本が配布されました。

苗を受け取った方は、「緑のカーテンをつくって、少しでも地球温暖化防止につながればいいですね。ゴーヤを収穫するのも楽しみです」と話していました。また、「緑」には癒しの効果もあるようです。ぜひ皆さんも、地球にも人にも優しい緑のカーテンを始めてみてはいかがでしょうか。